

「通訳翻訳研究所」定例講演会第四回  
国際報道と語学力  
—通訳・翻訳の意義と効用—

愛知県立大学は平成28年4月に国公立大学においては稀有な「通訳翻訳研究所」を開設し、無事三年目を迎えることができました。本年度最初の定例講演会として、元時事通信社記者で現在は拓殖大学海外事情研究所教授にして国際教養大学特任教授も務められる名越健郎氏を講師にお迎えし、本学学生にとって関心度の高い「国際報道と語学力の問題」についてお話を伺う運びとなりました。指定対象学生の他にも定員(80名)までは参加可能です。興味があれば、ぜひご参加ください。

平成30年6月5日 研究所長 大森 裕實

【講演要旨】

外国に勤務する記者にとって、現地語の習得は不可欠だが、日本人にとって苦手なものが外国語である。近年は帰国学生や留学経験者が増えて外国語に通じているにもかかわらず、新聞やテレビで特ダネは減ってきている。ネット時代、スマホ時代で、国際報道の形態が大きく変わってきたこともその一因として看過できない事実である。最近の外国メディアの報道の変化も紹介しながら、国際報道で語学力がどのような意味を持つのかを検討する。

日時 平成30年6月27日(水) 12:30~14:30  
(講義90分+Q&A's / Free Talk 30分)

会場 愛知県立大学 学術文化交流センター (2F 小ホール)



内容 [講演会] “国際報道と語学力—通訳・翻訳の意義と効用—”

講師 名越 健郎 (拓殖大学海外事情研究所教授/国際教養大学特任教授)  
(元時事通信社記者: バンコク、ワシントン、モスクワ支局員、  
外信部長、編集局次長、仙台支社長を歴任)  
司会 袖川 裕美 (本学准教授)

対象 外国語学部 EIC コース履修生/外国語学部通訳技法・翻訳技法履修生/  
大学院国際文化研究科英語高度専門職業人コース履修生  
※その他ご興味のある方はご自由にご参加ください

参加 参加費無料, 事前予約不要 (定員80名)  
※プログラム詳細については、愛知県立大学 HP ポータルサイト  
<http://www.aichi-pu.ac.jp> から本研究所ウェブでご確認ください



主催 愛知県立大学 通訳翻訳研究所

お問合せは E-mail で通訳翻訳研究所 (IITsince2016@for.aichi-pu.ac.jp) まで  
TEL: 0561-76-8824 (学務課 [研究所担当] 阿部)  
FAX: 0561-64-1107 (文系教員センター共用)